

あきない歳時記

(1)

エステティックサロン
アドバイザー

辻 大作氏

米国でも、保健医療

はどんどん

縮小し

ているそ

うであ

る。その理由は、何とか
国家財政を軽減しよう
というためである。

「多分にもれず、日本
もその方向に行きつつあ

るようだ。現時点では、
その声はまた大きいもの
ではない。従来、病気に
かかった人は、健康保険
で治すのが常識であった
が、これからは「病気に

今日
機能的な状況を迎えてい

ならぬ」ようにする病
院が増えて行くことにな
ってきそう。

当然、病気ではないか
ら保険はきかない。いわ
ゆる「予防医学」という

ものである。見方を変え
れば、本来あるべき方向
なのかもしれない。そこ

から「医師免許」がなけ

い者が診察をしたり、診
断行為をすることは、現
在の法律では禁止されて
いる。しかし、オイルを
使ってマッサージをする

とか、そういうことは、
別に構わない。あるいは、
化粧品や健康食品を選ん

であげたりすることも別
に構わない。

しかし予防医学でな
ら、自然のものと天然
のものとかの、サプリメント

や食事療法とか、そ
ういったことを相談して
あげることについては、
非常に重要になってく

る。ヨーロッパでスタート
したエステティックは、
もともとの発想は予防医

新世紀は予防医学の時代

世間の力

う。逆に

とほしな

いだろ

の盛り上がりなら、アタ

マの堅い役所も動かさる

を得なくなるはず。もう

もう少しの時間が必要か

もしれない。

高齡化時代、さらに健

康保険の破産、いやでも

「予防医学」の時代にな

りつつあるようである。

「医師免許」を持たな

る。